



令和8年度

6月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和 8 年 5 月 2 9 日



三大幼 HP は
こちらから



こどもの学びの時間を大切に

園長 安田 徳章

「ジューンベリー（※1）ができてる！」実の赤い色が濃くなっていく様子に気が付いた年長児が、今年も収穫してみんなで食べることを提案し、年中児を誘って初夏のさわやかな甘さをみんなで味わいました。こどもたち自ら身の回りにある環境の変化に気付き、自分たちの楽しい生活を創り出している様子に成長を感じます。

5月下旬に行った園内研究会で、幼児の遊び込んでいる姿のエピソードについて話し合いました。その際に出された幼児の姿は、年中児も年長児も、周囲で他の遊びをしている友達の動きに気を取られずに、じっくりと自分が関わりたい対象物に向き合って、何度も触ってみたいを試してみたりを繰り返している姿でした。もちろん、発達によりその対象との関わり方には違いがありますが、どちらも、「遊びに没頭している」「夢中になって遊んでいる」と捉えることができる姿でした。

『幼稚園教育要領解説（※2）』に次のような「遊びの本質」について記述した文章があります。「遊びの本質は、人が周囲の事物や他の人たちと思うがままに多様な仕方では応答し合うことに夢中になり、時の経つのも忘れ、その関わり合いそのものを楽しむことにある。（中略）幼児の遊びには幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれている。」

こどもたちは、様々な物や人、事柄などとの多様な関わりの中で、実に多くの学びを得ています。こどもたちの自ら「気付き」「感じる」「考える」時間を大切に、そっと見守ったり面白さなどの心の動きに共感する言葉を掛けたりして、その豊かな体験をしっかりと支えていきたいと思います。こどもたちが、うまくいかなくて考え込んでいるような姿に出会うと、私たち大人は、ついいろいろ教えたくなくなってしまいますが、こどもたち自身で思うようにいかないことに向き合うなどして、困難を乗り越えたり考えをじっくりと巡らせたりする時間を保障していきたいものです。

保護者の皆様も、こどもたちの豊かな学びの時間を見守り、支えていただきたいと思います。また、今後実施する研究保育では保育時間変更などのご協力をお願いすることもあります。ご理解の上、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※1 開園 40 周年の年に植えた記念樹です

※2 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省 平成 30 年 3 月）



今月の指導のポイント



年中りんご組

登園すると自分から身支度に取り組み、やりたい遊びを見つけて遊び出す姿が見られます。「パーティーしよう」「ショーごっこしよう」など、おおまかなイメージをもち、同じ場で遊んでいる友達と同じ動きをしたり、同じものを身に着けたりして、一緒に遊ぶことを楽しんでいます。

友達と関わる中で、思いが上手く伝わらない場面では、教師が互いの思いに気付けるように橋渡しをしています。伝え方や言葉を知らせ、少しずつ相手に思いが伝わる関わり方が分かるようにしていきます。

園庭では、年長児と種蒔きをした草花や、学級で育てている夏野菜に水やりをし、芽が出たことに気付く姿が見られます。生長や収穫を楽しみに、引き続き関心をもてるようにしていきます。

今月からプールが始まります。水遊びを通して水の気持ちよさ、心地よさを感じられるようにします。また、プール遊びの身支度や着替えの始末の仕方なども知らせ、自分で取り組めるようにしていきます。

年長にじ組

保育室でのごっこ遊びや、砂場で雨どいを使っているコース作りなど、自分の思ったことや考えたことを伝え、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られています。引き続き、自分の思いだけでなく、相手の言葉に耳を傾けたり、一緒に考えたりすることができるようにしていきます。また、遊びの中で自分のイメージが実現していくことや、自分たちで遊びを進める楽しさを感じられるようにしていきます。

夏野菜などの栽培物、飼育物にも興味をもち、「すいすい池」や「さんだいむしむしハウス」で生き物の成長や変化に関心をもつ姿が見られます。気付いたことを伝え合ったり、教師や友達と調べたりして、興味や関心を深めていけるようにします。

今月からプールも始まります。水の感触を楽しみ、解放感を味わいながら、自分なりのめあてをもって取り組めるようにします。また、石けんを使った遊びや船作りなど、水を使った遊びを通して、試したり工夫したりして、じっくりと遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。